

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC3M1T05 ピアノV (弾き歌いを含む)	木村 博子・田中 幸子・塩津 貴子	クラス分け	1単位	こども学科 3年次	前期	必修			選択必修	BDEF
授業のテーマ及び到達目標										
子どもの感性を伸ばす音楽を探索する。 保育の現場に合う童謡の伴奏と弾き歌いの力をつける。 右手旋律・左手コードまたはベース奏、両手コード伴奏、その場に合う編曲ができるようになる。 8、9月の保育実習、幼稚園教育実習へ向けての実習判定曲を全て暗譜で自由に弾けるようになる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	オリエンテーション ハ長調のコードの復習 園生活の歌	シラバスを読む付点リズムに気をつけ元気な音で弾く	レッスンカードの活用、実習判定までの計画を立てる	9	二長調のコード・転回形 夏の歌	課題曲に動きをつけると仮定して弾み方、弾き歌いの研究する	移調奏、先読み、弾き歌いの練習		
	2	旋律と伴奏コードのバランス 園生活の歌	園児に旋律を指導する想定でバランスを意識して練習	「旋律の冴えた音、左5指は支え」を身につける	10	付点リズムと三連符 快活な童謡	5番までの歌詞を覚え、ハ長調のコードを復習する	ト長調、ハ長調 両方自由に演奏できるようにする		
	3	弾き歌いの基本 園生活の歌	歌詞を暗譜して行く	明るく元気な音色のために必要な指の基礎訓練を考える	11	付点四分音符と付点八分音符 園生活の歌	コードとアルペルティバス両方の復習をしておく	音楽的に正しい付点リズムを自由に使えるようにする		
	4	実習判定① 園生活の歌	完全に暗譜し、元気に弾き歌いする練習をする	左手と歌、右手旋律を弾きながら歌い、バランスをとる	12	実習判定② 軽快な付点リズムの歌	「さんはい」直後からしっかり歌い始める練習をする	振り向き、笑顔に完全に慣れる練習を積む		
授業の概要										
実習時を想定し、暗譜・笑顔・振り向きながら、目の前の幼児に語りかけるピアノ伴奏および弾き歌いのための個人レッスンをし、実習判定に臨む。 実習時期に合わせて、季節、生活、行事の歌を課題曲として判定を行う。	5	前奏の効果 二長調の童謡	「さんはい」に合わせやすい前奏の終わり方を研究する	緊張に耐え、完璧な暗譜演奏に至る練習量・質の探求	13	初秋の風情を歌う 現場で必須の歌	3番までの歌詞を完全に暗譜する	風景を思い浮かべ絵を描けるような表現の工夫		
	6	情緒豊かな歌詞を活かす 日本の童謡	歌詞を読み込み、フレーズを大切に歌う練習をして行く	ピアノでも弾き歌いでも抒情性が伝わる演奏の探求	14	元気な発声めざす 行事の歌	同じ行事の別の曲を調べる明るく歌う	伴奏を自由に使えるようにし、難度の高い版も練習		
	7	ペダル効果の使用法 登場回数が多い園生活の歌	誰でも口ずさめる曲を音楽的に正しく理解する	伴奏の完成後は様々なtempoや表現で練習する	15	レパートリーの仕上げ まとめ	実習判定基準に沿って課題曲の表現方法を整理し暗譜	こどもの動きや感情に寄り添った表現を探索する		
	8	実習判定② 年間通してよく歌われる歌	教科書を基に曲や自分に合う伴奏型を考え練習する	曲調に合う強弱を用い、曲に合う表現を身につける						
教科書・テキスト等	改訂ポケットいっぴいのうた実践子どものうた(鈴木恵津子他 教育芸術社)、こどものうた200(小林美実編 チャイルド社)、続・こどものうた200(小林美実編 チャイルド社)			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
参考書・参考資料等	日本童謡200選(日本童謡協会編 音楽之友社)、音楽リズム・幼児の歌(小林美実編 東京書籍)				ピアノ・弾き歌い実技試験	80%	かけ声・振り向き・音程・音楽性			
					平常点(態度・行動観察)	20%	毎回のレッスン状況、取り組みの姿勢			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC3M1T06 ピアノVI (弾き歌いを含む)	木村 博子・田中 幸子・塩津 貴子	クラス分け	1単位	こども学科 3年次	後期	必修			選択必修	BDEF
授業のテーマ及び到達目標										
ピアノVまでに培った力を活かし、保育現場で提供するに相応しい、更に深い音楽を求めていく。 童謡の音楽性、保育の現場に相応しい伴奏の編曲、コード伴奏を確かなものにし、課題は全て暗譜する。 歌詞の読み取り、意味を考えた譜読み、自分に合った編曲など、自分で切り拓いていく力をつけることを目標とする。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	オリエンテーション 実習の振り返り	実習中の曲を弾き歌いし、音楽活動について纏める	レッスンカードに振り返りと今後の目標を書き込む	9	ハ長調のベース伴奏と分散和音 冬の歌・行事	ハ長調コードの復習をし、楽譜にない前奏を考える	強弱記号がない曲の緊張の解決を楽譜から読み取る		
	2	拍感と強弱 秋の歌	動作を伴う元気よい曲と抒情的な曲との違いを練習する	オペレッタの演出を想定し、応用方法を考える	10	スタッカートと擬音語 季節の歌・冬	歌詞読みを曲に合うスタッカートの奏法を研究する	二長調をハ長調に移調し、楽譜にも書けるようにする		
	3	ハ長調の復習 活気溢れる曲と情緒溢れる童謡	ベース伴奏を拍に乗せる練習	親子愛に満ちた音色とタッチを研究し身につける	11	ハ長調の復習 行事の歌	解離型コードに慣れハ長調の音階とカデンツを練習する	オリジナルの前奏を身につけ、使えるようにする		
	4	変ロ長調のコード 運指を考える	ベース伴奏で右手の旋律を歌が聞こえるように奏する	両手伴奏で弾き歌いの練習をする	12	実習判定② 冬から春への歌	曲調に沿った表現で完全に暗譜する	一緒に歌いたくなる伴奏とは何かを探索する		
授業の概要										
現場で役立つ、子どもに合う編曲、移調、コード伴奏、両手伴奏等、様々な形に慣れて使えるようになるための徹底した個人レッスンを積んでいく。 冬、早春の課題曲で実習判定を行う。	5	実習判定① 季節の歌と日本の童謡	フレーズと音価を含めてきちんと暗譜する	判定で演奏しなかった課題曲を復習し完全なものにする	13	変ロ長調のコード 早春の歌	調号の確認、左手の主要三和音を練習しておく	黒鍵を親指、5指で弾くことに慣れる		
	6	ピアノ曲に取り組み クラシックの小品	取り上げる曲の調のスケールとアルペジオの練習をする	曲から訓練すべき音型を探し効率的な練習法を考える	14	ハ長調とハ長調の復習 表現が難しい曲	音楽の呼応に感情を込める	簡易伴奏のベースの運び方と奏法に工夫を凝らす		
	7	ピアノ曲のレッスン 練習の密度を受講のしかたを学ぶ	作曲者、曲の背景、作品番号、原典版について調べる	楽語の意味や表記のしかた、深読みして表現法を探索する	15	ピアノVIの振り返り まとめ	2/4、3/4、6/8拍子の復習をする	日本語の美しさを感じ、伝えるための技量を備える		
	8	ピアノ曲の仕上げ 成果発表	楽譜に自分の注意事項を書き込み、視奏か暗譜か決める	楽語の意味や表記のしかた、深読みして表現法を探索する						
教科書・テキスト等	改訂ポケットいっぴいのうた実践子どものうた(鈴木恵津子他 教育芸術社)、こどものうた200(小林美実編 チャイルド社)、続・こどものうた200(小林美実編 チャイルド社)			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
参考書・参考資料等	日本童謡200選(日本童謡協会編 音楽之友社)、音楽リズム・幼児の歌(小林美実編 東京書籍)				ピアノ・弾き歌い実技試験	80%	かけ声・振り向き・音程・音楽性			
					平常点(態度・行動観察)	20%	毎回のレッスン状況、取り組みの姿勢			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC3M2T07 ピアノⅦ (弾き歌いを含む)	木村 博子・田中 幸子	クラス分け	1単位	こども学科 4年次	前期	選択必修			選択必修	BDEF
授業のテーマ及び到達目標	授業計画									
子どもの音楽の発達を促し、豊かな心や優しさを育む一翼を担う童謡を、音楽的に深く理解し、こどもの心に寄り添う伴奏で指導できるようにする。 保育現場に合う童謡の伴奏と弾き歌いの力をつけて実習に臨む。 童謡の移調やアレンジ、両手伴奏など考えられた課題ができるようになる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	オリエンテーション 基本の復習	ハ・ハ・ト・二長調のコード、カデンツを練習する	各同主調でも弾く実習判定の練習計画を立てる	9	分散和音を拍子にのせる 重くならない左手	1拍め=強拍だが叩いた音にならないようつかんで弾く	4小節を一区切として楽譜を読み取る習慣を身につける		
	2	旋律と伴奏のバランス 園生活の歌	左手伴奏の音数・厚みによりバランスを変える	判定判定課題を自己の効率よい練習順序に整理する	10	躍動感、印象に残る特徴的な歌 秋の自然の歌	両手伴奏で弾き歌いができるようにする	歌として表現するための基礎練習の何が活かせるか考察		
	3	音色と指先 細かい練習によって鍛えられる感覚	歌詞やフレーズを考えて暗譜し音色。音量に反映させる	明るい音色に必要な指先のコントロールを訓練する	11	情景を伝える 風情ある秋の歌	音価を大切に、呼吸を伴って歌を正しく覚える	旋律と歌、左手と歌を別々に練習して音楽観を得る		
	4	弾き歌いを上達させる 部分練習とソルフェージュ	歌っても影響がないピアノの安定感を求めた練習	右手旋律を弾きながら歌い、バランスを整える	12	実習判定② 夏から秋の歌	練習、振り向きに完全に慣れる工夫を積んで判定に臨む	右手を少し抑えて歌とのバランスをとる習慣をつける		
授業の概要										
実習時を想定した「暗譜・笑顔・かけ声・振り向き」を完全に身につける。 目の前のこどもに語りかけるピアノ伴奏および弾き歌いのための個人レッスンをを行う。 実習時期に合わせて、季節、生活、行事の歌を課題曲として判定を行う。	5	実習判定① 夏の歌・園生活の歌	入り易いさんハイ、顔を上げて一緒に歌う先生像をめざす	両手伴奏+歌に慣れるためソルフェージュ力をつける	13	移調とアレンジ ハ・二・ハ・ト長調	ハ長調と二長調のコードを演奏と記譜で復習する	主要三和音のカデンツを自由に弾けるようになる		
	6	リズムカルな童謡・唱歌 刻みと付点リズム	明るい音色のタッチ、軽快な付点リズムを身につける	指先で鍵盤を捉えるスタカート奏法を研究する	14	移調とアレンジ 長調と短調	長調と短調の響きの変化を聴き取り、表現に繋げる	響きの明暗、強弱など変化に注目する習慣をつける		
	7	拍感をしっかり意識する よく歌われる歌	頭の中で指揮をして拍子を感じ一貫性をもって練習する	正しい拍子・リズム・音程で歌う訓練を習慣づける	15	実習に向けて まとめ	課題曲の完成度を上げ、明るく歌えるようにする	響きの明暗、強弱など変化に注目する習慣をつける		
	8	ハ長調と変ハ長調 夏の歌	変ハ長調について調べる(音楽理論的復習)	ハ長調簡易版でも前奏は原曲の形を用いる等工夫する						
教科書・テキスト等	改訂ポケットいっぴいのうた実践子ども(鈴木恵津子他 教育芸術社)、こどものうた200(小林美実編 チャイルド社)、こどものうた200(小林美実編 チャイルド社)			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
参考書・参考資料等	日本童謡200選(日本童謡協会編 音楽之友社)、音楽リズム・幼児の歌(小林美実編 東京書籍)				ピアノ・弾き歌い実技試験 平常点(態度・行動観察)	80% 20%	かけ声・笑顔・振り向き・音程・音楽性 毎回のレッスン状況、取り組みの姿勢			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC3M2T08 ピアノⅧ (弾き歌いを含む)	木村 博子・田中 幸子・塩津 貴子	クラス分け	1単位	こども学科 4年次	後期	選択必修			選択必修	BDEF
授業のテーマ及び到達目標	授業計画									
保育現場で子どもに向き合い、寄り添う音楽の在り方を音楽大学で学ぶ意義と併せて、より深く探求する。 移調やアレンジ、コード伴奏、両手伴奏による弾き歌い等あらゆる形に対応できる。 確実に暗譜し、子どもの様子を見ながら弾き歌いする。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	オリエンテーション 実習の成果発表	実習時の音楽活動等についての発表準備	レッスンカードの活用を再認識し、目標を書き込む	9	移調とアレンジ 冬の歌・行事	ハ・二・ハ・ト長調のコードを復習しておく	長2度上下行に慣れたら短2度上下行に挑戦する		
	2	コード伴奏とベース伴奏 秋の歌	楽譜にコードネームを書き入れて音楽理論の復習をする	手遊び歌を笑顔で指導する、伴奏する役割に分けてみる	10	スタカートとマルカート 季節の歌・冬	連打するコードの弾き方を復習する	近隣調に移調し、楽譜を書く		
	3	正しい音程の復習 ソルフェージュの基礎	4度上行、5度上下行、8度上行の音程を正しく歌う	両手伴奏の時の歌に自信がもてるまで練習する	11	二長調の復習 早春の行事	左手だけ伴奏しながらバランスのよい音量で歌う	擬音語の歌い方、弾き方を研究し、楽しさを伝える		
	4	歌詞とフレーズ 表現を考えたソルフェージュ	音価と休符に注意しフレーズの終わりを考えて歌う	和声の機能による緊張と解決を理解し、歌に反映させる	12	成果発表③ 短い設定保育	園児への語りかけ、声のトーンも研究する	園児の顔を見ながら楽しく歌うところまで練習する		
授業の概要										
ピアノⅦまでに習得した楽譜の読み取り方、歌詞読みによりフレーズの捉え方、表現の向上のための個人レッスンをを行う。 就職試験対策としてピアノ曲や弾き歌いのレッスン、卒業後すぐに必要になる定番の童謡の指導も行う。 実技試験では、ピアノ曲(自由曲)、伴奏曲、弾き歌い曲の3曲とする。	5	確実な暗譜 意識的暗譜と身体的暗譜	部分練習と片手練習をくり返すことの効果を実感する	技量と必要な練習量を知り頭と身体両面から暗譜する	13	アルベルティバスを滑らかに弾く 春の歌	左手の部分練習を行い、リズム変奏で指の訓練をする	既成の編曲を参考にしながら一時的な伴奏をアレンジする		
	6	成果発表① 弾き歌い、移調、ピアノ曲他	個人のベースと就職試験に合わせ、自由曲を用意する	演奏マナー、聴くときの態度ができていたか振り返る	14	4年間の振り返り 卒業後に役立つ課題	就職先の園歌や未知の曲の楽譜を譜読みし予習する	教員の助言を参考に練習の仕方を考える		
	7	ピアノ曲 クラシック、アニメソングのピアノソロ他	作曲者、曲の背景を調べ、出版社・版も比較する	楽譜から曲の内容を読み取っていたか振り返る	15	試験課題曲	後期実技試験課題曲の予習と暗譜に取り組み	実技試験曲を仕上げ今後の課題の練習計画を立てる		
	8	成果発表② ピアノ曲の仕上げ	曲について調べたことをメモし使いやすい楽譜を作る	音楽用語、記号をまとめ、大譜表の書き方を復習する						
教科書・テキスト等	改訂ポケットいっぴいのうた実践子ども(鈴木恵津子他 教育芸術社)、こどものうた200(小林美実編 チャイルド社)、こどものうた200(小林美実編 チャイルド社)			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
参考書・参考資料等	日本童謡200選(日本童謡協会編 音楽之友社)、音楽リズム・幼児の歌(小林美実編 東京書籍)				ピアノ・弾き歌い実技試験 平常点(態度・行動観察)	80% 20%	かけ声・笑顔・振り向き・音程・音楽性 毎回のレッスン状況、取り組みの姿勢			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー	
KC3M2T29 ハーモニーⅡ	木村 博子	単独	2単位	こども学科 3年次	前期	選択必修			選択必修	CDE	
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画										
コードネームを見て伴奏が付けられるようになる。また、童謡曲やこどもの曲を様々な伴奏形で演奏し、移調もできるようになる	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修			
	1	授業についての説明 機能と声やコードの確認テスト	ハーモニーⅠの復習	確認テストの振り返り	9	童謡・子どもの曲のコード伴奏と移調(二長調)	課題曲の旋律を弾く	課題曲を移調する			
	2	童謡・子どもの曲のコード伴奏と移調(ハ長調)	課題曲の旋律を弾く	課題曲を移調する	10	童謡・子どもの曲のコードを分析とアレンジ(二長調)	課題曲を弾いてコードを考える	授業でのアレンジを基に自分で考える			
	3	童謡・子どもの曲のコード分析とアレンジ(ハ長調)	課題曲を弾いてコードを考える	授業でのアレンジを基に自分で考える	11	童謡・子どもの曲のコード伴奏、移調(ハ長調、ハ長調、ト長調、二長調以外の調)	自分で曲を選び旋律を弾く	課題曲を移調する			
	4	童謡・子どもの曲のコード伴奏と移調(ハ長調)	課題曲の旋律を弾く	課題曲を移調する	12	童謡・子どもの曲のコードを分析とアレンジ(ハ長調、ハ長調、ト長調、二長調以外の調)	自分で選んだ曲を弾いて、コードを考える	授業でのアレンジを基に自分で考える			
	授 業 の 概 要										
	ハーモニーⅠで学習したコードネームやキーボード・ハーモニーを発展させ、保育や幼児教育の現場で実践できる力をつける。童謡曲・こどもの曲のコードによる伴奏付けや移調、アレンジも行う。また、幼児の音楽表現活動ができるように簡単な即興演奏法も学ぶ	5	童謡・子どもの曲のコードを分析とアレンジ(ハ長調)	課題曲の旋律を弾く	課題曲を移調する	13	アンサンブル	課題曲を聴く	自分のパートを練習する		
	6	童謡・子どもの曲のコード伴奏と移調(ト長調)	課題曲の旋律を弾く	課題曲を移調する	14	アンサンブル(いろいろな音色に変えて演奏)	音色を考える	自分以外のパートも練習してみる			
7	童謡・子どもの曲のコードを分析とアレンジ(ト長調)	課題曲を弾いてコードを考える	授業でのアレンジを基に自分で考える	15	まとめ	発表の準備	発表と授業で行ったすべての内容の振り返りをする				
8	確認テスト(課題曲のコード伴奏、移調、アレンジ)	これまでの復習	確認テストの振り返り								
教科書・テキスト等	配布プリント	成績評価基準	評価方法		割合(%)	評価のポイント					
参考書・参考資料等			期末試験	60%	実技試験	課題への取り組み 受講態度					
		課題 / レポート	20%								
		平常点	20%								